

アンケート調査結果報告書

アンケート調査概要

項目	詳細
調査目的	「生意気委員長がめっちゃくちゃおしっこ我慢する話」の満足度および特定性癖への訴求力調査
調査対象	本作を購入・読了した20代～40代の男女12名
調査期間	2025年10月～2026年2月
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドソーシング
出典元	https://fkikaku.co.jp/book/namaiki/

読者感想レビュー詳細

No.	属性	感想内容
1	30代女性	以前からめじあ先生のファンでしたが、今作も期待を裏切らない神作品でした。とにかく絵が上手すぎます。簡潔なストーリーの中に少年の可愛さが凝縮されていて、これ以上ない満足感を味わえました。この時代に生まれてよかったです。
2	20代男性	規則に厳格な生徒会長が、タイミングを逃して限界まで我慢する.....というギャップが最高にエッチでした。パンツの中の描写があったのも良かったですし、何より数ページにわたって出し続ける放尿シーンの官能的な描写に圧倒されました。
3	20代男性	「委員長」という偉そうな立場なのに、身体的にはまだ幼いというギャップが刺さりました。生理現象に翻弄される少年の「気持ちよさ」が最大限に描写されており、自らの意思と無意識の境界線にあるおしっこの出方の違いに興奮しました。
4	30代男性	限界状態でも高いプライドを捨てきれない主人公が可愛すぎます。漏らしてはいけないという理性と、快感に流されていく本能の対比が素晴らしく、最後の尿道に残った一滴まで描き切るこだわりには、作者様

		の並々ならぬ愛を感じました。
5	20代女性	女の子のおもらし作品は多いですが、男の子の着衣失禁にこれほど感動するとは思いませんでした。膀胱が痛くなる表現や足ピン、荒い息遣いなど、心当たりがありすぎるほどリアルな描写が凄いです。新たな性癖の扉が開く音がしました。
6	40代男性	恋愛要素を排除し、生理現象と尊厳破壊にのみフォーカスを当てた潔い構成に救われました。プライドの高い子が屈服していく様は、×じあ先生の高い画力があってこそ映える芸術です。ショタ・小スカ系が好きなら絶対買いの一冊。
7	30代男性	桜庭くんが必死に耐えている姿は可哀想ですが、それを見ている同級生たちが絶妙にいい奴らなのが救いでした。スッキリした描き込みで読みやすく、特におまけページでの彼の「情けなさ15割増し」な様子に最高に癒やされました。
8	30代女性	「もう手遅れなほど漏れているのに、本人はまだ大丈夫だと信じて必死に耐えている」というシチュエーションが大好きで、ドンピシャでした！我慢の限界を超えた後の放尿シーンの長さとおまけページの美しさは、他の作品ではなかなか味わえません。
9	20代男性	×じあ先生はこのジャンルでNo.1の推しです。ストーリーはシンプルですが、それゆえに少年の生理現象そのものの魅力を存分に楽しめました。スッキリとした絵柄が性癖の深さを際立たせており、何度も読み返してはお世話になっています。
10	40代男性	床に飛び散った自分の尿の上に座り込んで泣くというラストシーンが、尊厳の崩壊を美しく描いていて感動しました。第三者に見られてしまう絶望感も含め、心理的な追い詰め方が完璧。作者様の表現力の高さに、ただただ感謝です。
11	20代男性	描線が非常に綺麗で、おしっこの軌道やしぶきの表現まで職人芸を感じます。我慢している最中の、震える指先や必死な表情のバリエーションが豊富で、まるで自分がその場に居合わせているかのような臨場感を味わうことができました。
12	30代女性	男性の尊厳を破壊する美学が詰まっていました。ただのスカトロジーではなく、キャラクターの性格や立場がしっかり描かれているからこそ、失敗した時の情けなさが際立ちます。おまけページを含め、サービス精神旺盛な内容に大満足です。

